

科名 外科

対象疾患名 ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌

プロトコール名 キイトルーダ+EC(アロカリス併用)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	...	21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ	↓			
2	点滴注	側管	キイトルーダ 生食	200mg 100mL	30分かけて	↓			
3	点滴注	側管	グラニセトンバッグ アロカリス デキサート 又は	1mg 235mg 9.9mg	30分かけて	↓			
4	点滴注	側管	パロノセトンバッグ アロカリス デキサート	0.75mg 235mg 9.9mg	30分かけて				
5	点滴注	側管	エンドキサン 生食	600mg/m <sup>2</sup> 100mL	30分かけて	↓			
6	点滴注	側管	塩酸エピルビシン 生食	90mg/m <sup>2</sup> 100mL	全開で 壊死性抗がん剤	↓			

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル4(90%以上)

4コースまで

day2-4にデカドロン朝、昼食後に1回4mg(8錠)を内服する。

&lt;キイトルーダ&gt;

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

&lt;エピルビシン&gt;

エピルビシンは蓄積性の心毒性があるため総投与量は900mg/m<sup>2</sup>以下とする。